

社員すべてが環境問題に対して 対応できる環境を整えています



教育関連

環境対応企業として、社員の一人ひとりが環境に対する豊富な知識を持ち、環境問題に対して適切に対応できる環境を整えています。社員の階層別教育の他、事業所ごとに環境リーダーを育成。気軽に社内の環境知識を共有できる工夫も行っています。

環境講演会『環境ビジネス最前線!』開催

3月7日、本社にて(株)シーズディー・コンサルティングの能塚善之氏を講師に招き、環境ビジネス最前線と題した講演会を開催しました。能塚氏は大阪産業創造館(大阪市経済局のベンチャー支援等を実施する施設)にてベンチャービジネス、起業家の育成を行っており、具体例を挙げながら、環境ビジネスの問題点、方向性、手法等を講演されました。



社内報「クリモト」環境コーナー

環境教育・啓発活動として毎月発行している当社社内報に環境コーナーを設け、最新の環境法令、イベント、環境委員会活動、トピックスを紹介しております。



クリモト淡輪研修センター

大阪府の最南端岬町淡輪にクリモト淡輪研修センターがあります。当施設は教育・人作りが企業の未来に欠かせないとの坂元前社長の意向で3年前に建設し、大研修室(100名)、小研修室(30名)、プロジェクターなどの研修用品完備に加え、合計100名分の宿泊室(身障者対応室2室)の他、食堂・2大浴室完備の施設です。新入社員研修、その他各階層別研修など様々な教育研修会に利用されています。



太陽光発電



風力発電

クリモト淡輪研修センター内には小規模風力発電(羽根の直径1.2mで高さ3.5mと4.5mの2台)太陽光発電設備を設置、両者を組み合わせたハイブリッド発電を行っています。

受付機のディスプレイで発電量や風速・気温などの運転状況をリアルタイムで見られます。



環境報告書の発行

当社の環境活動を皆様にもご理解いただくため2000年から環境報告書を発行しております。

表紙は自然を愛した
写真家 星野道夫氏の
作品を毎回使っています



ATCグリーンエコプラザ出展(環境常設展示場)

日本初の環境関連常設展示場、ATCグリーンエコプラザにこの度ソーラーウォールパネルの現物展示を行いました。

場所：大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル11階西側
(入場無料・水曜定休日、当社ブースNoA12)



当社ブース



ソーラーウォールパネル

様々な環境イベントを通じて 社会貢献活動を実施しています



地域社会との交流

環境報告書の発行や展示会、講演などを通じた社外への広報活動とは別に、クリモトでは独自に、あるいは他企業と共同や行政のイベントを通じて社会貢献活動に積極的に取り組み、地域振興や地域社会とのコミュニケーションを図っています。

大和川・石川クリーン作戦

2003年3月2日(日)大阪府下の河川流域10会場で河川敷の一斉清掃を行う『大和川・石川クリーン作戦』が開催されました。当活動は6年前から続いており、当社も泉北工場の自然を愛する有志が第1回から参加しています。

今回は泉北工場の他に大阪臨海工場、本社の現役、OBを加え過去最高の30名程がボランティアで参加しました。



ボランティアに参加した人々(JR浅香駅近くの大和川)

参加者の声

第1回から参加しておりますが、こんなに大勢の人が集まったのは初めてです。これからもひとりでも多くの人が参加してくれることを望みます。

泉北工場OB
水田 喜久男氏

巨大お好み焼きプロジェクトに参加

大阪城西の丸庭園にて2002年11月3日、世界最大のお好み焼き(直径8m重さ約16トン)を作ろうとのイベントがNHK主催で開催されました。このお好み焼きを焼く鉄板は当社大阪臨海工場で設計・製作しました。当社の社員も当日多数参加し、大阪人の心意気を遺憾なく発揮しました。



当社が設計・製作した鉄板

環境イベント『スミノエコロジー』に参加

大阪市住之江区に加賀屋工場と住吉工場の2工場を持つ当社は、毎年住之江区役所が主催する環境イベント『スミノエコロジー』に参加しています。

今年もパネル展示、ディスプレイによる環境活動報告、環境報告書の配布を行いました。

水のエキスポに出展参加

第3回世界水フォーラムの中核イベントとしてインテックス大阪にて3月18日から22日の5日間『水のエキスポ』が開催されました。

当社もパレプ事業部、鉄構事業部、栗本化成工業株が出展し、刈草固形炭化システム(→P9)や超微細気泡散気装置「フレックスエアー」(→P8)が注目を浴びていました。



刈草固形炭化システムを説明中

オイスカ「子供の森」計画支援(植林活動)

1999年より当社は財団法人オイスカ*を通じてインドネシア・ジャワ島等の「子供の森」計画(植林活動と環境教育を組み合わせた子供達の手による森づくり運動)を支援しております。

今期は、ジャワ島各地23校の各植林地で706ヘクタール、7714本が植林されました

* (財)オイスカは1961年創立で、国連社会理事会諮問資格GENERAL(最高ランク)の国際的な活動で知られている地球環境を考え、「教育と開発」を促進するNGOです。



植林に向かうSDN第二スリンギン小学校の生徒



「クリーンおおさか2003」に参加

大阪市主催の大阪市一斉清掃「クリーンおおさか2003」に参加しました。本社近くの堀江公園並びに住之江公園の清掃美化活動を行いました。



堀江公園での美化活動

「ラプス運動」で誰もが安心して働ける職場づくりを目指します

安全衛生

クリモトでは全事業場、全工事部門の協力会社を含め、全従業員が安心して働けるよう「ラプス運動」(R=戻ろうB=基本にS=安全衛生)に取り組んでいます。定期的に各工場や工事現場のパトロールを実施し、災害の防止に努めています。

労働安全衛生

クリモトでは「誰もが安心して働ける安全で快適な職場づくり」を目指し、日々努力をしています。具体的には、全社的な取り組みとしてラプス運動(R=戻ろうB=基本にS=安全衛生)を展開中です。運動の趣旨は、安全も健康もただひたすら基本に返るのみで、6つの重点実施項目を指針として、全事業場、全工事部門の協力会社を含めた全従業員が総力を傾注し、全員参加による安全衛生活動を展開しています。

不安全設備・不安全作業(行動)の摘出と対策
安全作業マニュアルの作成と作業員への周知徹底
類似災害・在来型災害の撲滅
部門別教育資料に基づく安全衛生教育の実施
職場環境の改善と健康の保持増進
工事部門の安全衛生活動の強化

具体的な活動は、全栗本安全衛生委員会およびワーキンググループにより、定期的に各工場・工事現場のパトロールを実

施し、不安全設備・不安全作業(行動)等の摘出、過去に発生した災害の再発防止対策のチェック等を行っています。また、過去の災害データを活用しての事業場等に合わせた教育資料を作成し、災害の防止に努めています。



安全パトロール(栗本化成工業湖東工場)

□ 組織図



第三者 の 意見

『元気の出る明るい環境報告書を』



竹原 信夫 氏
産業情報化新聞社代表
日本一明るい経済新聞編集長

さすが“モノづくり”のクリモトさん、たくさんの環境関連技術を持っておられますね。改めて感心させられました。フジサンケイグループの日本工業新聞記者時代、度々取材させてもらっていましたが、環境報告書を読ませていただき、水、廃棄物、騒音など各分野で新技術がたくさん誕生していることを痛切に感じました。

こうした環境技術や製品が普及することで、産業界の環境対策が進むことになり、それは地球環境にも大いに役立つことになります。クリモトさん、受注先そして地球にとってもありがたい、まさに“三方よし”の環境活動だと思います。

もちろん、社内でも栗本環境基本方針のもと環境自主行動計画を立てられ、独自の環境対策にも積極的に取り組んでおられます。

環境コミュニケーションとして、大和川・石川クリーン作戦など工場ごとに、地域社会との環境交流も進められています。海外では、環境NGOである財団法人オイスカが展開するアジアでの「子供の森」計画(植林活動)にも積極的に支援されておられます。ボクも財団法人オイスカ関西総支部参与として、この活動に参画しています。植林活動と環境教育を組み合わせたアジアの子供たちの森づくり運動です。その趣旨にご賛同いただき、長期にわたる支援に感謝しております。

この環境報告書でも会社の環境への取り組み姿勢だけでなく、社員、家族の環境活動も取り上げてもらえれば、もっと温かで身近なものになるのではないのでしょうか。

今、世の中では明るい話題はあまりありません。環境についても後ろ向きの対策が多いようです。そんななかで、将来に明るい希望が持て、元気が出るような“明るい環境報告書”を目指していただきたいと思います。